

12 月度 例会 個人山行報告書		報告者	松井啓仁	参加メンバー	CL 谷口(CL) 岸上 鈴木芳(車) 松井 石川
		報告日	12/28		
山域	八ヶ岳	山行日	2021.12.12~13		
山名	阿弥陀岳、赤岳				
山行目的	雪上訓練	コースタイム(天候:天気図記号)			

配布先
集会: 12
山行: 1
リーダー
原紙: 集
会担当者

ルート図(地図を見て正確に)



25万分の1地図

- 12/12 天気: 晴れ
コースタイム
4:30 刈谷本社 出発
8:30 赤岳山荘P 登山口
11:00 行者小屋 テント場
12:00 各パーティに分かれて演習
- 12/13 天気: 曇りのち晴れ
6:00 起床
7:00 各パーティに分かれて演習
12:00 行者小屋 テント撤収
13:00 閉会式 記念撮影
14:30 赤岳山荘P 登山口着
途中、温泉、食事
18:30 本社刈谷 到着

〈山行報告〉

1日目

岸上、石川、谷口、鈴木 ※松井: 中山展望台
13:30 行者小屋
14:30 阿弥陀岳コル
15:00 阿弥陀岳山頂
16:10 行者小屋

文三郎尾根コースを10分ほど登ると阿弥陀岳への分岐がありそこから20分ほど夏道に沿って登った。夏道から尾根沿いの直登に進路を変え膝上くらいの新雪の急勾配を登りコル直下の谷へ出た。コルまでの直登は勾配もきつく雪も深いので体力を消耗する。脚力のある岸上は、すんなりとコルまで登りつめコルで待機、赤岳、富士山の展望がきれいだった。阿弥陀岳までは、岩と雪のミックスとなるためアイゼンを装着し30分ほどで山頂に到着。山頂に着く少しまえからガスが発生し展望はいまいちであった。慎重にコルまで下り、そこから谷をシリセードを交え一気に降りた。

織機

吉田広平
鎌倉大樹

アイシン

矢田翔麻
加藤大貴
三田陽介
常脇佐知子

トヨタ

田邊康浩
井出敦夫
社本裕幸
山本大輔
川瀬桂子
古川紗紀
深澤喜久雄
都正弘

確認
(リーダー)
谷口

〈リーダー所見〉

この時期の雪訓は例年西穂に行くことが多いですが、今回は八ヶ岳。ピークハント、アイス、登攀等、各人がやりたいことをできたと思います。全トヨタの参加メンバーも増え交流もできるようになり、楽しい山行でした。今年は雪も多そうなので、雪訓をスタートにいろんな冬山に行けることを楽しみにしています。

作成
(報告者)
松井

2日目

鈴木、谷口:アイスクライミング

6:10 行者小屋
6:25 赤岳鉱泉
9:45 アイスクライミング終了
10:30 行者小屋
一気に赤岳鉱泉まで下り

裏同心ルンゼをF1取付きまでひたすら登る

F1到着時に20名ほど前パーティーが居たが大半が巻き道へ行ってしまう
3組待ちとなったが装備を準備してる間に丁度いいタイミングとなった。

F1 鈴木リード 一番難しいところを選んで登ったが思ったより簡単にクリア。

F2 谷口リード 2段の滝であるが雪で埋まっているところが多くアイス感が少なかった。

左側谷に進むと昨年断念した水壁の滝をトライしようとしてみたが、前パーティーがトップロープで登攀練習をしていたので諦めモフモフの新雪をラッセルしトラバース

F3 前パーティーを待つのが嫌だったのでフリー登攀

F4 鈴木リード アイススクリュウを打つ練習も兼ねて多めに支点4ヶ所取り50mロープいっぱい

終了点、フォローの谷口竜巻で雪粒を顔でうけながら登攀。

裏同心付け根まで雪稜を登り詰める。風が強くて寒くてたまらなかった。

ロープを片付け、急いで下山

岸上、石川:赤岳

赤岳登頂時は日が差しており、気持ち良さそう

松井:雪上訓練

トヨタのパーティーに混じり、ピッケルを用いて、歩行訓練、滑落停止訓練を実施した。

【所感】

2日間とも天気にも恵まれた、1日目は快晴で風もなく快適であった。2日目は早朝は曇りだったが、途中から晴れてきて、登山日和となり、楽しい雪山訓練ができた。

全体集合写真(@行者小屋)



1日目

柳川南沢ルート



行者小屋のテント場で、幕営



夕食準備

阿弥陀岳に登頂



2日目 アイスクライミング



赤岳登頂



集合写真(テント場)



帰りの食事(ハルピンラーメン屋) (いつも帰りに寄る:鈴木、谷口)

